

第3部会 西区八景めぐり報告

実施日：2023年7月4日 (火) 13:00~17:15



西区のホームページで▶
さらにチェック!

西区八景と解説 (広報チラシより)

1. 豊かな農作物を育む砂丘

かつて海であった新潟平野に信濃川が土砂を運び、長い年月をかけて作られた新潟砂丘。

砂丘の伏流水に恵まれ、新潟すいかやいもジェンヌ(さつまいも)、日本酒などの新潟のおいしさを育む原動力となっています。

2. 探訪できる北国街道

江戸時代、佐渡の金銀の輸送路として整備された北国街道は、かつては松尾芭蕉も歩いたと言われています。

赤塚周辺には、中原邸や大慈寺、石黒家屋敷跡、三句碑など歴史情緒が感じられる場所がいくつかあるので、ぜひ探訪してみてください。

3. ラムサール条約湿地 佐潟

貴重な水生植物や、冬には越冬のためシベリアから訪れる白鳥を見ることができるラムサール条約湿地。新潟市はコハクチョウの飛来数で県内1位です。

湿地の保全や再生活動への地域住民の参加、環境教育などの国際基準を満たし、2022年11月「ラムサール条約湿地自治体」の認証を受けました。

4. 新川大橋から見る夕日

新川河口に位置する新川大橋。周辺の海岸には多くのサーファーが訪れ、新川漁港では冬のミスダコが有名です。

新川大橋からは、夕日に照らされる西区の街並みや、日本海に沈む夕日を見ることができます。

5. 大学生のいる風景

2つの大学がある西区。県内外から多くの学生が通う西区の町には、多くの学生が行き交い活気が溢れます。

また、西区役所では、各大学(新潟大学、新潟国際情報大学)と連携し様々な事業を実施しています。

6. 地域で守り・育てる松林

区の北側が海に面する西区を飛砂や潮風から守るため整備された松林。現在は遊歩道も整備され、市民の憩いの場としての機能も兼ね備えています。

保安林を維持するために、地域住民や様々なボランティア団体が整備を行っています。

7. 越後平野を水害から守る 関屋分水

新潟市周辺地域を水害から守るために整備され、令和4年に通水50周年を迎えました。

周辺住民による花植え活動等も行われ、生活の一部として区民に親しまれています。

8. 広大な田園風景

区の面積の約3割を田んぼが占める西区では、四季折々の田園風景を望むことができます。

田んぼの中を走る電車や、弥彦山や角田山をバックに揺れる稲穂を眺めながら「田んぼ浴^(※)」してみませんか?

※西区自治協議会が創った造語です。

西区自治協議会 第3部会

西区八景めぐり ルートマップ

2023.7.4 (火) 13:00~17:15

